



転載
禁止
Reprint is prohibited.
無断転載・複製・転写・
Web上のアップロード禁止

R18
ADULT ONLY
成人向け作品につき
18歳未満閲覧禁止

佐竹 五郎

せっかく内定決まっていたのに
女になっちゃったせいで
就活やめ直さなきゃならぬ奴

この物語はフィクションです。
登場する人物・団体・名称等は架空であり、
実在のものとは関係ありません。

いかなる面接においても「女性だから」「男性だから」
といった事を根拠に就活生を差別することは許されません。

性的な乱暴を受けた際に「嫌だけど感じてしまう」
という表現がよくありますが、これもフィクションだからです。
真に受けてはいけません。

現実の社会において、肉体と精神の性別に違和を感じている方に
肉体の性別を押し付けることは許されません。
何度も言いますが、これはフィクションだから
成り立っているのです。

上記のことを理解できる方のみ
この本を楽しんでいただきたいと思います。

俺の名前は「佐藤かなめ」。
今俺は「就活」に
明け暮れている。
既に終えたはずの「就活」に。

こんなことを言っても
誰も信じないだろうが、
俺は、つい1年程前まで
男だったのだ…

男として生まれ
男として育った。
俺は身も心も男だった。



以前の俺の名は「北条かなめ」。
世界的企業「北条ホールディングス」の
総帥を祖父に持つ男だった。
我がグループは代々、
子供たちの中で最も優秀な
「男子」が継承することになっている。

自慢じゃないが、俺はその
跡目候補のナンバーワンだった。
祖父には何人かの孫がいるが、みんな
俺よりも能力が下か、「女子」だ。
すでに俺にはグループ企業の
幹部候補の内定も出ていた。



ある日、俺は
謎の男たちに
拉致されてしまった。

な…何のつもりだ
お前たち……

お前は現在
北条グループの
跡目候補
ナンバーワン…
だがそれも
今日までだ…

フフフ…
北条かなめ
だな…

お…俺を
消すつもりか
…?

命までは取らんさ。
後々面倒だからな。
だが、跡目候補からは
退いてもらう…

!?

ピッ



女は跡目候補から外れる...



これで今日からお前は女だ...

...!?



身体が...縮んでる...!?

何だ...!?



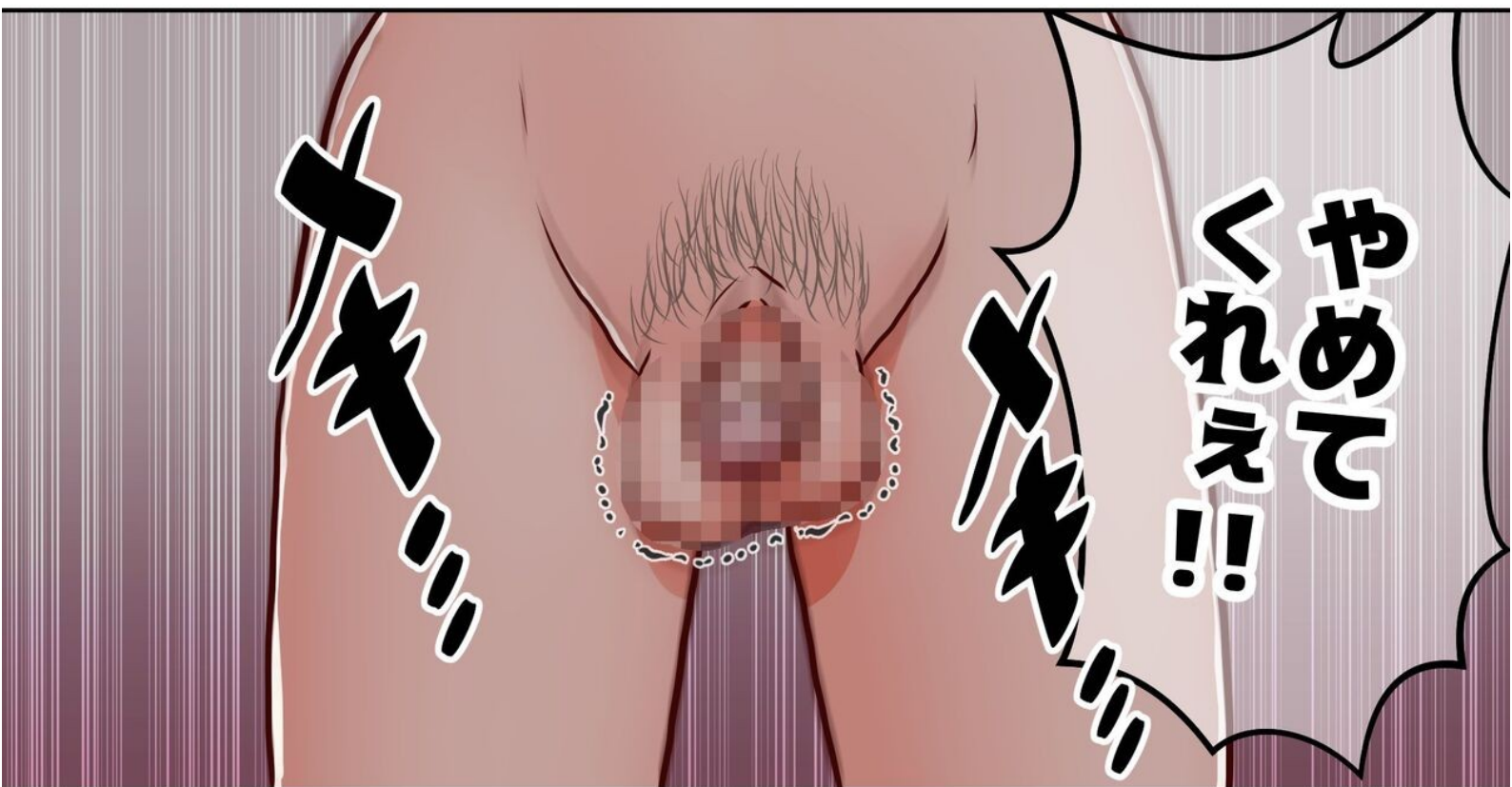
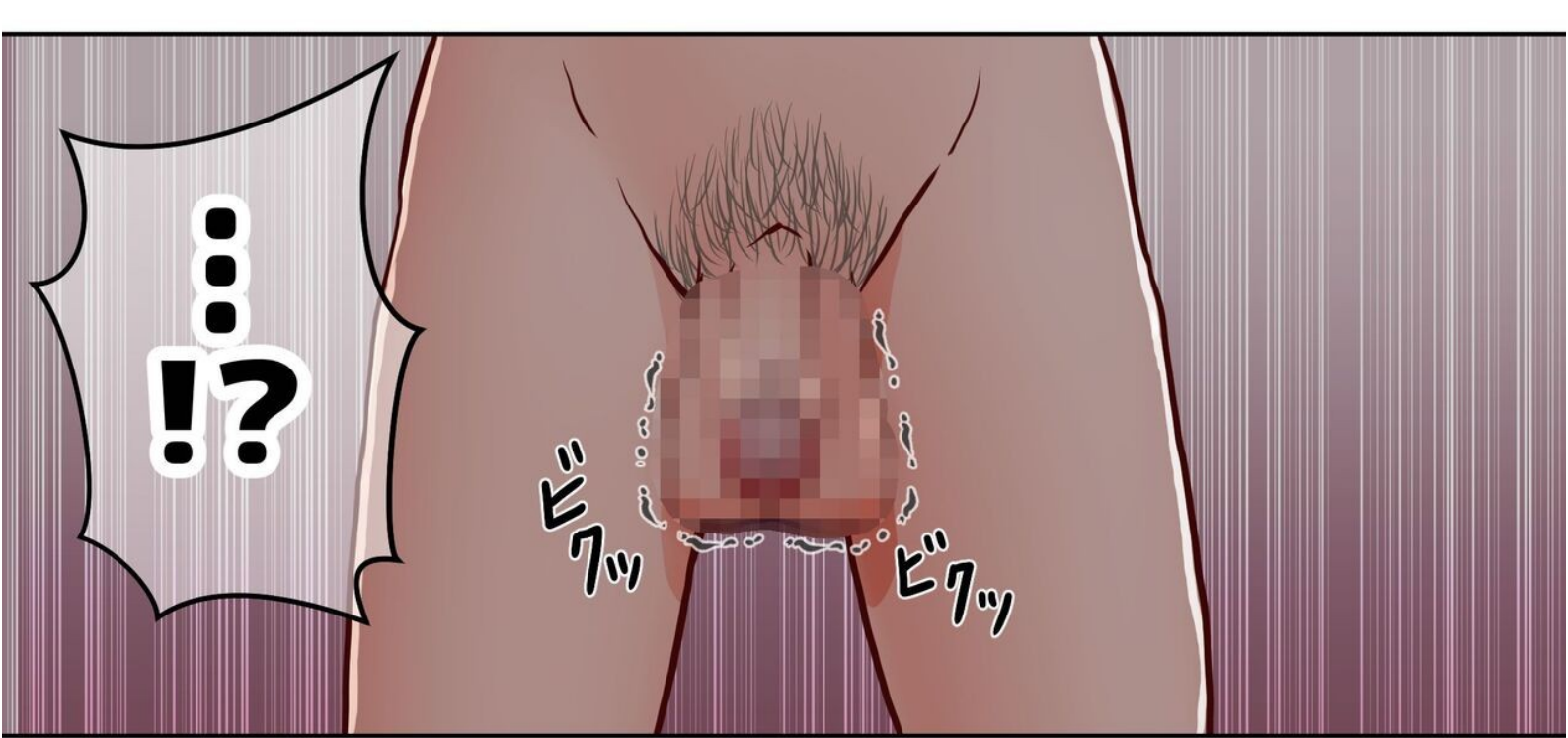
ああ...ああ...



ぷるぷる

びしょ

む...胸!?



あ……あああ……

×キ……

×リ……

!!!?



は…はああああん♡

あまあまあまあま♡

その後、俺は気絶しているところを警察に保護された。その後数週間入院したのち、自宅に帰ることができた。しかし、俺の身体は…女になった身体が元に戻ることはなかった。

俺を女にした犯人たちは
行方をくらませており、
見つかる気配はない。

そして、やはり…と言うべきか
俺は祖父の後継者からは
外され、北条の名前も奪われた。
北条グループは俺に、別人の
「女」としての戸籍を与えたのだ。
そのせいで大学に戻れず、
退学扱いとなった俺は
内定の話も全て消え去り、
事実上全てを失った。



しかし、世の中は残酷だ。それでも俺は生きていかなければならない。

頼りない…男だったら…はみ出てるな…

つけらんねー…

ヤバ…男の時と左右逆で…

とめにく…

こんなのどうやるんだよ……

メイク…むず…

何かケバくな…どうしよ…

…クソ！
なんだコレ…
はきにくい…
全然はけねえ！

兎にも角にも社会復帰を
しなければならぬ。
しかも「女として」だ。
それは俺にとって
踏み入れたことのない、
いや、踏み入れる必要も
なかった筈の
未知の領域なのだ。



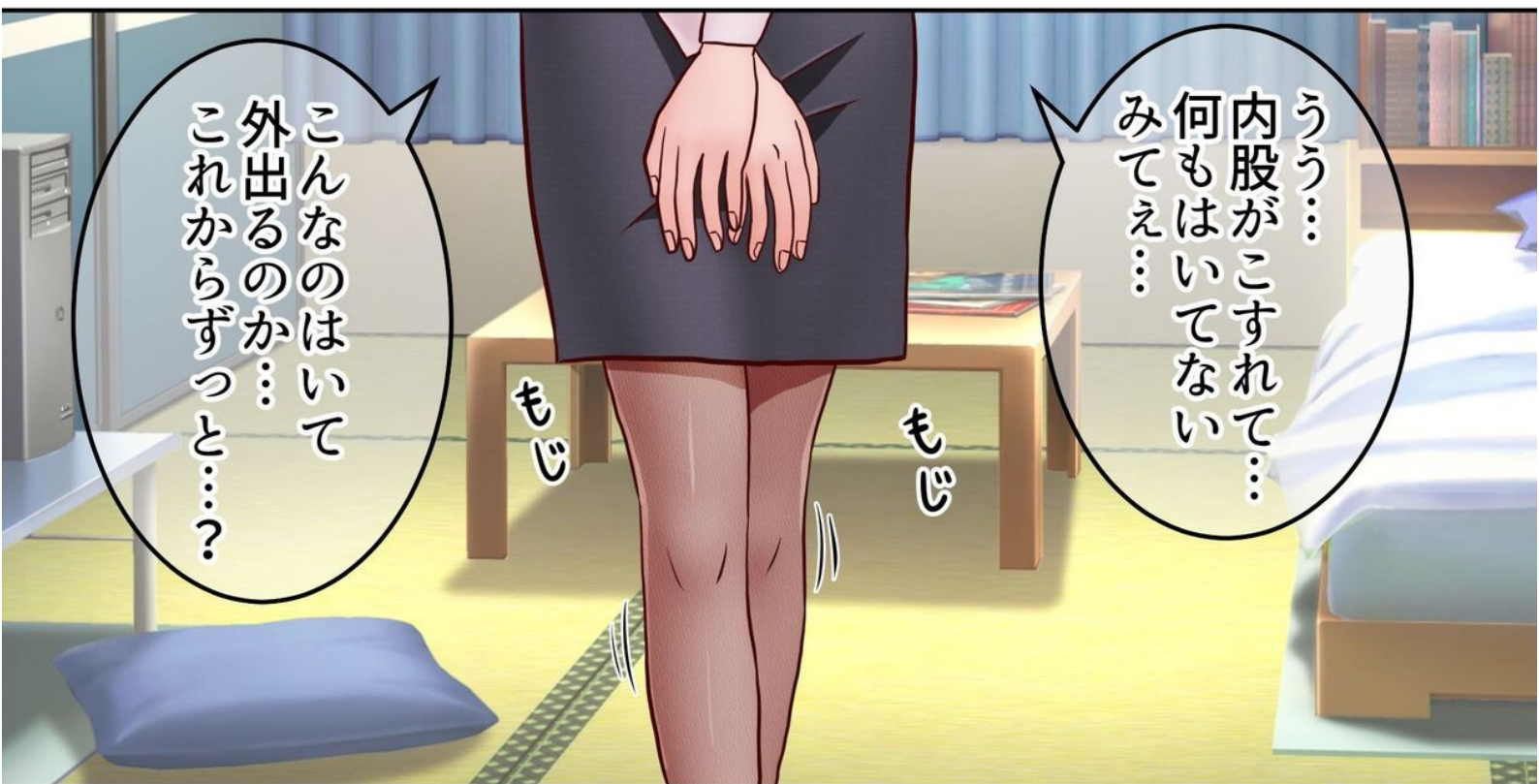


畜生……
なんで……

する……



スカート……



こんなのはいて
外出るのか……
これからずっと……？

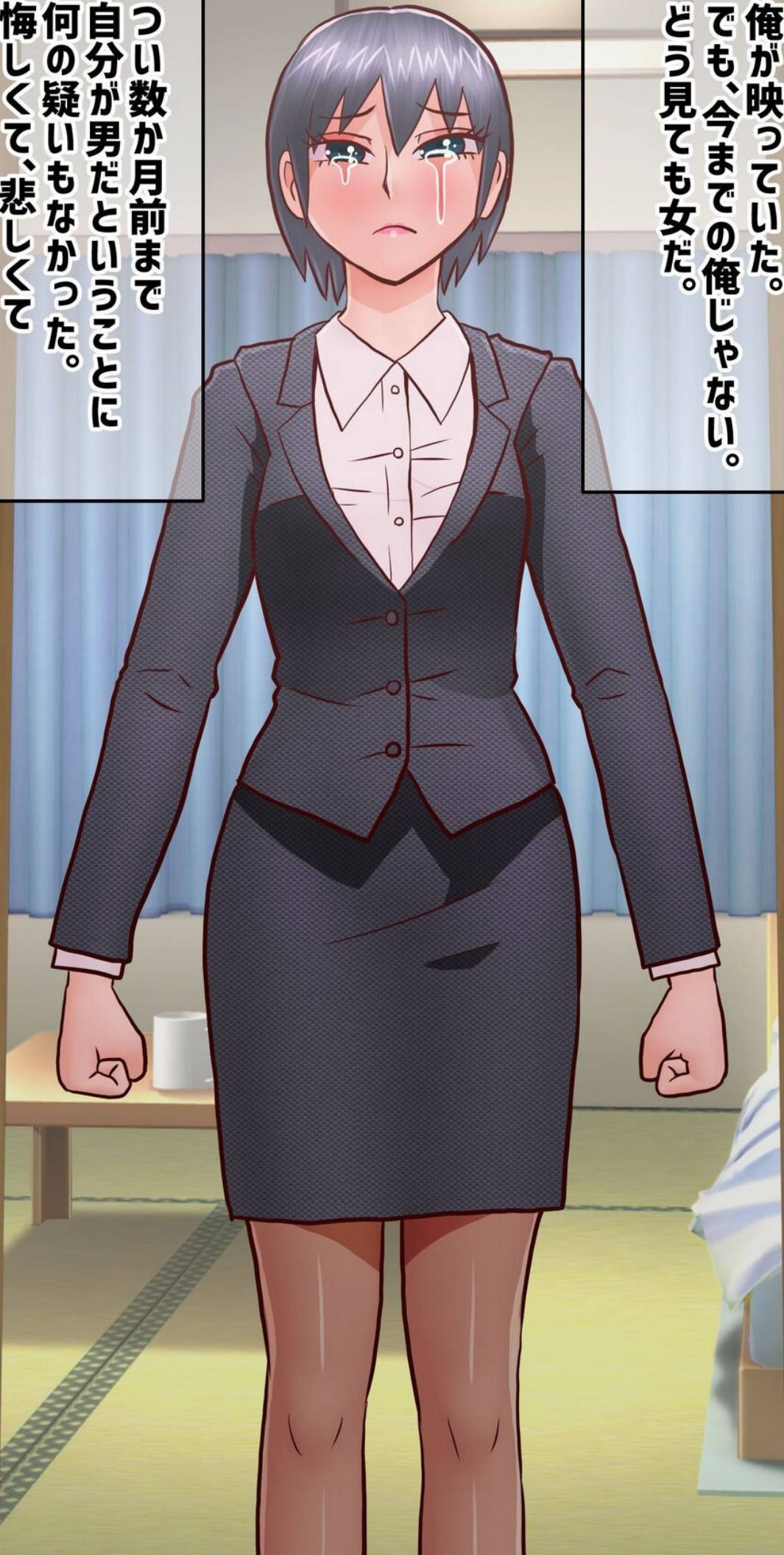
もじ

もじ

うう……
内股がこすれて……
何もはいてない
みてえ……

鏡を見た。当たり前だが俺が映っていた。でも、今までの俺じゃない。どう見ても女だ。

つい数か月前まで自分が男だということに何の疑いもなかった。悔しくて、悲しくてせつかくメイクをしたのに俺は泣いていた。



ああ……!!

これから女として
生きていくのか俺は…
そう思うと、なにか
気が遠くなりそうな
思いがする。

グキ…



やべ…
シヨンベンしたく
なつてきた…
この身体…我慢
できなさすぎる…

ハッ…

ハッ…

あと1分で
電車来るって
いうのに…



急がなきゃ...

まもなく 2番線に
電車が まいります
危険ですから
黄色い線の...

グイ...

グイ...

女の身体になって
シヨンベンが本当に
不便になった。
男の時は、チャックから
アレを出すだけだった
のに...今は下着を下ろす
必要がある...
(今はストッキングも...)

ズル...

ひう...!!

ん…

キョロ…
…ん。

男の時は
立つてできたが、
女は座らないとできない
和式だと
しゃがむ必要がある…
不便で仕方ない…

しかも、男の時と
比べて、爽快感と
いうのが放出感
というのか…
そういうのが無くなった。
股から垂れ流してる
感じだ…

キョロ…
…ん。
…ん。

ん…ああ…

発車 いたします
扉が 閉まります
ご注意ください

ああ…!!
そんな…

これが
毎日続くのだ
それだけで、
男に戻りたくて
仕方ない…

ポタ…

ポタ…



そして面接…

脚、閉じてんの
キツツ……

それでは
次の質問
ですが…



あ…はい
私は、その
御社の…

かなめちゃんほ
ぶっちゃけ
彼氏とかいるの？

…え…？

女の子ってさあ
結婚したり
妊娠したら
すぐやめちゃう
からさあ

あと君、開発職で
応募して
きてるでしょ？
うちではいないな
女の子で
開発職は

もっと事務とか
経理とかさ
そういうので仕事
探してみたら
じゃないと
需要無いよ？

…何を
言われてるんだ…
俺は…

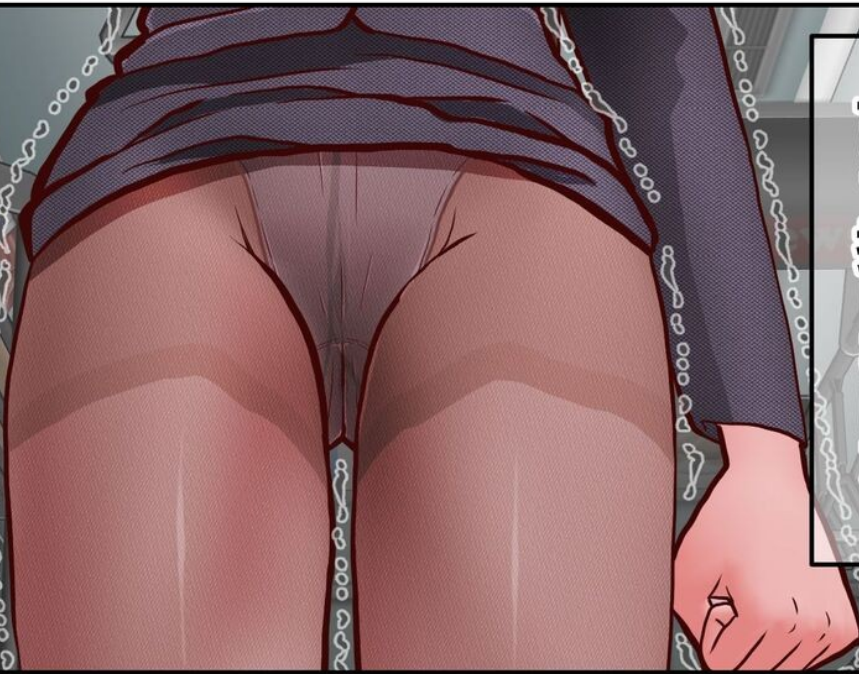
やっぱりね。
男の世界だよ
開発とかは！
そこに女の子が
入ってきちゃ
駄目！駄目！

はあ：
泣いてるの…？
厳しいこと言うけど
こんなことで
泣いちやうのが
やっぱり女だな
思っちやうよ…

なんで…
なんで女ってだけで
こんな扱いを…？


今日思い知らされた。
俺はもう以前の俺ではない。
北条の名を失ったからなのか…
それとも、女として生きるというのは
こういう事なのか……

……そんなことを考えていて
気付かなかったが俺の後ろにいる男…
やけに俺に密着していて…
まさか…？




そう思っていると
奴は俺の
スカートに手をかけ
上まで捲りあげた。

本当は振り切らなければ
いけないのに、
怖くて、情けなくて
身体が動かなかった。



そのままされるがままに
ストッキングを破かれ、
下着を引っ張られて…
俺の…

以前は、男のものが
付いていたはずの
俺の「アソコ」に
手を伸ばした。



信じたくなかった。
俺は男だったのに、
今は女になって…
そして今「女」として
男に凌辱されようと
している…

ひ…

気持ち悪い！
気持ち悪い！！
…ヤダ…

やめろ！
やめろ！
やめて…！！

気持ち悪い。痛い。
不愉快だ。
なのに…身体が
身体の「女」が…

身体が傷つかないように
ダメージを抑えるために
痛みを紛らわせるために
「感じ」ようとしてしまっている。



は...あ...あ...あ...はあああん

んんんんぎうううう!!

こんなの嫌なのに...
勝手に頭が
真っ白になって

恐らく女として
初めて
絶頂を迎えて
しまった。

ムッポ...
ギャグ...
ムッ...

ヤダヤダヤダヤダ
ヤダあああああ!!

プキ
プキ
プキ

ズグッッッ

あれから10年の月日が流れた。
私は都内の小さな会社で
簡単な事務の仕事をしている。
あれから男に戻る気配はない。
10年間、ずっと女のままだ。

結婚はしていない。
正直、男と恋愛することが
想像できないし、
女性に対しても…そういう
気持ちを感じられなくなっていた。





ふと思うことがある。
自分がもし男のままだったら、
どんな人生だったんだろう。
胸の内を正直に言おう。
私は結婚してみたかった。
子供も欲しかった。
男の幸せを味わってみたかった。
でもそれも、もう叶わぬ夢だ

多分、私はこれからも
女だろう。
そしていつか、女の人生の方が
長くなって…
そして女として生涯を終える。



あーあー

お買い上げいただき、
ありがとうございました。

**せっかく内定決まったのに
女になってしまったせいで
就活やり直すことになった奴**

作者：佐竹五郎

Twitter： <https://twitter.com/bukuman>

pixiv： <https://www.pixiv.net/users/20494148>